

要 望 書

松井一郎知事 橋下徹市長
大阪維新の会府議団幹事長 今井豊殿 同市議団幹事長 美延映夫殿

この度、大阪維新の会が提案されました「教育基本条例案」の趣旨説明や、賛成討論等を熟読しました。そして一行一行ごとに「そうだ!」「そのとおり」「当たり前やんか!」などと声が出てしまいました。

資源のない日本、競争に打ち勝てる「生きる力」をもった強い子供を育成しなければならない。そのためには教育現場から「ゆとり」などと「鍛える」ということを放棄してしまった「日教組を排除する」。それが教育正常化を願う我々にとって長年の悲願でした。

- ① (選挙で選ばれた) 首長が教育内容を決める
- ② 保護者・地域住民等が積極的に関与
- ③ 子供の特性を活かした学校選択制
- ④ 校長・副校長の公募制
- ⑤ 教員に対する信賞必罰

の5つからなる条例案は、真に我々の思いを具体化したものです。

2月28日から始まる大阪市会では、橋下新市長はこの「教育基本条例案」を提出されると聞いています。また、大阪府議会では、今審議の真っ最中で、ほぼ原案通り決まりそうとか。

私たち、大阪の、関西の、我が国の教育を憂う仲間が本日、橋下市長の母校である北野高校の庭先に集いました。そしてこの条例成立のためできる限りの応援をしようと誓い合いました。

松井知事、橋下市長、両議会におかれましては、この条例案に反対する勢力を力強く蹴散らし、1本の骨も抜かれることなく早期に成立させるよう、強く要望いたします。

平成24年2月25日

「教育基本条例」早期制定を求める緊急集会
参加者一同